



NO.1116

2017.4.23

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二 四四五八
F 四三二 四四五七



カワアイサ

日本共産党道議団（シストセンチュウ）

現地調査決まる！

日本共産党道議団は、

4月26日にジャガイモシロシストセンチュウの現地調査に、ジャガイモの生食用と加工用を生産している北浜地域の4戸の農家に入ります。

汚染されていない畑での生産・出荷ができるでんぶん用ジャガイモとは違い、生食用・加工用のジャガイモは移動が禁止されているため生産農家は、大きな打撃を受けていま



各地の女性達と宣伝行動する「ストップの会」

共謀罪、戦争法（安保法制）許せない！
15日（土）に行われた「ストップの会」の宣伝行動が晴れわたった陽気とは裏腹に、過去に3度廃案になっている

この間、北海道は国に代わって説明会を3回行ってきましたが、生産農家からの聞き取りは一切ない中で「国や道は我々農家を加害者のようにいうが、我々は被害者だ」、「農水省が行った土壌調査の結果、畑からシロシストセンチュウ汚染はなかった」と怒りの声が上がっていました。このよう

な中、日本共産党への調査の依頼があり、松浦議員が『共謀罪』の国会提出で一気に緊迫する中、25名の参加で行なわれました。この日は「新日本婦人の会」のブロック会議が行われていて、札幌、北見、紋別、遠軽、美幌の参加者も参加しにぎやかに市民に呼びかけていました。スピーチに立った「平和憲法を守る網走の会」の山本さんは「子供たちを戦争に駆り立てた『教育勅語』を再び教材に持ち出そうとする危険な安倍内閣は許すことができません、みなさんともに力を合わせ、頑張りましょう」と訴えていました。

道議団と国会議員事務所に連絡を取り今回の調査が決まりました。

※シロシストセンチュウとは、ジャガイモ、ナス等のナス科の植物に寄生し長期間にわたり乾燥・低温等に耐えて生きる。

本線虫が寄生したジャガイモはやがて枯死する。付着したジャガイモを食べても人体には無害。線虫の根絶には非常に困難なため、転作を余儀なくされることもある。

「テロ等準備罪」と名前を変えても『共謀罪』！
心の中を監視するなんてとんでもない！

松浦奮戦モ！



安倍政権の暴走が止まりません。「森智学園」疑惑、南スーダンPKOの「日報」隠ぺい、今村復興大臣の原発事故自主避難者に対する「自己責任」暴言など、政権や閣僚の資格そのものが問われる重大問題にふたをしたまま、政府・与党が「心の中」を処罰する違憲立法・「共謀罪」法案で新たな暴走に乗り出しています。

モラルハザード（倫理喪失）政権としての醜い姿を露骨にしています。安倍政権は、6月18日の国会会期末までの残り2ヶ月で、何が何でも成立させる構えです。自公の幹事長会談で、5月の連休明けにも衆議院を通過させることを狙っています。「共謀罪」は、これまで3回も国会で廃案になってきたものです。重大な人権侵害があるから廃案になったのです。成立すれば戦前と同じように監視社会になるのは嫌です。国民世論で廃案にしましょう。

◎5月7日（日）13時30分集合

保健センター駐車場 出発 14時

※みなさん！一歩でも二歩でも
いっしょに歩きませんか？



流水

付度と共謀罪

▼今私達は国民健康保険料、介護保険料を始め公営住宅の家賃など、色々な税金の支払いに四苦八苦しています。

▼困りごとがあつて重い足を引かず役所に相談しても、私達の気持ちを押し測つて対応していただいたなんて記憶にありません。▼給与や年金からの天引きで手間を省き、社会保障に使うと言う消費税も2年後に1割にする。こんな安倍政権に反対しようものなら、『共謀罪』で一網打尽にする。こんな政権こそ、政治テロ集団ではないだろうか？▼国民の生活が第一、軍事費よりも民生費に、大金持ちよりも小金も持てない人々に、「なんでも自己責任にするな」の声を大きくして、決して『あきらめない』行動が求められます。▼最低賃金を早く1500円以上、年金は誰でも10万円以上、若者を使いつぶす残業代は5割増しにして、みんなのふところを温めてこそ安定した生活を望むことができます。是非野党の皆さんに付度してほしいし、この息苦しい政治に一筋の光を指し示してほしいものです。

北見生活と健康を守る会
網走班班長 神田 優

